

# CONTENTS

## Chapter 1

### 診査・診断に関する迷信

迷信 1	インプラント治療は痛い！	12
迷信 2	ブラキシズムはインプラントの失敗原因とはならない	15
迷信 3	高齢者のインプラントは失敗しやすい	18
迷信 4	ビスフォスフォネート (BP) 製剤服用患者に対するインプラント治療は禁忌である	22
迷信 5	糖尿病患者におけるインプラント治療は生存／成功率が低く、行うべきではない	24
迷信 6	歯周炎罹患歯や既往歯は全部抜いたほうがインプラントの予後が安定する	26

解説：中居伸行 (1～4) / 大月基弘 (5、6)

## Chapter 2

### 治療計画に関する迷信

迷信 1	セメントリテイン (CR) よりスクリューリテイン (SR) のほうが予後がいい	30
迷信 2	プラットフォームスイッチ (PS) したインプラントは辺縁骨喪失 (MBL) が少ない	33
迷信 3	粗面を有するインプラントは機械研磨表面を有するインプラントよりも 辺縁骨喪失が少ない	36
迷信 4	傾斜埋入は予後が悪いため、垂直的骨増生や上顎洞底挙上術をしてでも 歯軸方向に埋入すべきである	39
迷信 5	新鮮抜歯窩への即時埋入は、治癒した部位への埋入と同様の生存率である	42
迷信 6	エクストラショートインプラントは上顎には不適切である	46
迷信 7	ミニインプラントはオーバーデンチャー用として応用できない	49
迷信 8	前歯部のインプラント周囲軟組織の安定には唇側骨の厚みは最低 2 mm 必要である	52
迷信 9	マイクロスレッドは辺縁骨喪失を減少させるのに効果的である	54
迷信 10	臼歯部では前歯部唇側とは異なり、歯肉の厚さは辺縁骨喪失 (MBL) に影響を与えない	56

解説：中居伸行 (1、2、5～8、10) / 大月基弘 (3、4、9)

## Chapter 3

### 外科および周術期管理に関する迷信

<b>迷信 1</b>	インプラント埋入時にラフサーフェースは骨外に露出してはいけない ……………	62
<b>迷信 2</b>	上顎洞底挙上術側方アプローチを行う際、上顎洞底粘膜は薄いほうが健康でパーフォレーションしづらい ……………	65
<b>迷信 3</b>	インプラント周囲の審美性を考慮すると軟組織増生術は必須である ……………	68
<b>迷信 4</b>	インプラント周囲の角化歯肉は必要である ……………	71
<b>迷信 5</b>	インプラント埋入のトルク値は高いほうがよい ……………	74
<b>迷信 6</b>	シンプルなインプラント埋入処置であっても術前術後の抗菌薬投与は感染予防に役に立つ ……………	77
<b>迷信 7</b>	術前術後の鎮痛薬として NSAIDs は第一選択である ……………	80
解説：中居伸行(2、4、5、7)／大月基弘(1、3、6)		

## Chapter 4

### 補綴処置に関する迷信

<b>迷信 1</b>	下顎無歯顎者へのインプラント治療は、固定性のインプラント義歯(FIP)のほうが可撤性のインプラント義歯(IOD: オーバーデンチャー)よりすぐれている ……………	84
<b>迷信 2</b>	シングルインプラントの2-ユニットカンチレバーブリッジは禁忌である ……………	86
<b>迷信 3</b>	2-IOD の場合、インプラントの埋入ポジションは側切歯相当部がベストである ……………	89
<b>迷信 4</b>	下顎のインプラントオーバーデンチャー(IOD)は2本のインプラントが必要である ……………	92
<b>迷信 5</b>	前歯部単独欠損の低侵襲補綴オプションはインプラントが第一選択である ……………	95
<b>迷信 6</b>	インプラントは歯根膜がないから知覚がない ……………	98
<b>迷信 7</b>	下顎無歯顎者に対してインプラントオーバーデンチャー(IOD)は従来型総義歯より栄養摂取状態を改善させる ……………	100
<b>迷信 8</b>	インプラントと天然歯との連結は禁忌である ……………	102
解説：中居伸行(1～8)		

## Chapter 5

### メンテナンス・経過観察に関する迷信

- 迷信 1** チタン製アバットメント体やインプラント体は異種金属で触れてはならない …………… 106
- 迷信 2** インプラント周囲へのプロービングは偽陽性が多く信頼できないため不要である …………… 109
- 迷信 3** フッ素配合の歯磨剤やジェルを使用するとチタンが腐食するため  
インプラントを守るために使用してはならない …………… 112

解説：大月基弘(1～3)

## Chapter 6

### インプラント周囲炎に関する迷信

- 迷信 1** インプラント周囲炎の治療は誰がやっても治癒率が低い …………… 116
- 迷信 2** 再生療法はインプラント周囲炎に対する治療法として有効である …………… 118
- 迷信 3** 歯周炎の治療と同様に非外科的治療はインプラント周囲炎にも有効である …………… 121
- 迷信 4** インプラント周囲炎に罹患しているインプラントを消毒薬で清掃することは  
治療成功率を高めるのに役立つ …………… 124
- 迷信 5** インプラント周囲炎が見つかっていても進行は遅く、進まない場合も多いので  
経過観察すればよい …………… 126
- 迷信 6** 不正な咬合を与えることによりインプラント周囲炎は引き起こされる …………… 128
- 迷信 7** インプラント周囲炎の治療には Er:YAG レーザーは有効で他の治療方法より  
すぐれている …………… 132

解説：大月基弘(1～7)

## COLUMN

論文いつ読むの? ~EBMって本当にできるの?~(中居伸行) .....	28
ヨーロッパ型 VS 米国型 in dentistry?(中居伸行) .....	59
エビデンスレベルに囚われた論文読みの危険性(大月基弘) .....	60
COI とスポンサーシップ(中居伸行) .....	82
イエテボリ大学 VS イエテボリ大学の真相 前編: インプラント周囲炎という医原性疾患(大月基弘) .....	104
イエテボリ大学 VS イエテボリ大学の真相 後編: インプラント周囲炎という医原性疾患(大月基弘) .....	114
もつとも高度に発達した途上国(中居伸行) .....	135
21世紀型の留学とは?(大月基弘) .....	136